

## 増本大貴

メーカー勤務/設計・研究開発

Reykjavik University Sustainable Energy Engineering 卒

私はこの二年間、自身が関心のある”持続可能な社会の実現”にむけて学びを海外で深めることができました。住み慣れた日本を離れ、コンフォートゾーンから出ることは最初は抵抗もありましたが、それ以上に好奇心を強くもって行動していました。その中で学問だけでなく、今後の活動において共通する重要なことを共有します。

それは物事に取り組むモチベーションを保つ方法です。多くの人がおそらく慣れ親しんだ”楽”な選択を選ぶと思います。私もその一人です。その選択が間違えであるとは思いませんが、同じ環境で同じことを続けていても、新たな視点からのアイデアや予想以上の結果は得ることができません。私においてもこれが当てはまっていました。日本を飛び出して興味があった”自然エネルギー”について学び始め、毎日ずっと机に張り付いていました。しかし数ヶ月経つと次第にモチベーションが下がってしまったのです。これは環境の変化になれマンネリ化したとともに、当初の目的意識を見失ってしまった故に生じました。その状況から立ち直ることができたのは”私は環境を変えることで、初心に戻り新鮮な気持ちで再スタートを切ることができる”と理解したからです。私のモチベーションを高く支えてくれたのは友人たちとのつながりでした。場所は違えどともに留学した仲間たちと近況を報告し、将来像を語り合うことで自身が描いていた当初の目的意識を再認識することができました。そうすることで私は長い期間目的意識を持ち、学びに励むことができました。”なにか”が自分にスイッチを入れてくれることを見つけることが私にとって大きな存在でした。それは”知らないところを訪れること”であったり”部屋のレイアウトを変える”など小さなことでも気持ちの切り替えには有効的でした。以来私は常に新しい環境に身を置くことを意識して活動しています。

私は世界のエネルギー問題を解決したいという強い信念の元、就職活動をしました。その結果、現在は自然エネルギーに携わるメーカーで設計職を担当しています。勤めて間もないですが、日々苦悩と楽しさを併せ持ちながら働いています。学生時代よりも自分と対話する時間が取れなくなり、閉鎖的な環境で新たな視野を見出すことを忘れてしまうことがあります。常にモチベーションを高く保ち、初心を忘れぬよう社会貢献していきます。

私の経験談を読んでくださる方は「自分の目標(軸)を見つけること」「自分が向上できる環境を整備すること」を意識して取り組んでください。自分の目標は、自身の関心があ

る道をひたすらに歩いていくと見つかります。周囲からの意見で反対されることがあるかもしれませんが、自分の信じる道は必ず自分の軸となり支えてくれる柱となるはずです。見つけた目標に時にはうまくいかないこともあるかもしれませんが、スイッチの入れ方を探求し、粘り強く取り組み続けることをおすすめします。